

第 43 回 夕張川流域会議 議事要旨

日時：令和 5 年 2 月 16 日（木）10:00～12:00

場所：南幌町生涯学習センター「ぼろろ」



<議題>

- ・ 河川環境、河川利用に配慮した川づくりについて
- ・ 個別利活用箇所維持管理・役割分担などについて

<主な意見>

■河川環境、河川利用に配慮した川づくりについて

- ・ 夕張川のショウドウツバメ営巣地は、石狩川流域でも貴重な営巣地で、かつては KP12.4 付近左岸にも営巣地があった。H23 年の掘削は、営巣地对岸とその上流の砂州の掘削がセットで実施されておらず、土砂が堆積してしまった。
- ・ ショウドウツバメの営巣、河川利用考慮の断面設定の考えは良い。
- ・ シューパロダム運用以降、栗沢頭首工より下流の河床低下が目立つようになっている。これが掘削箇所に堆積してしまうことになるので、掘削箇所単独ではなく、広い範囲で検討してほしい。
- ・ 栗沢頭首工下流では、頭首工の構造問題から左岸側が堆積し、河床が低下している。また下流も堆積で河道幅が狭くなっている。
- ・ 様々な河道の掘削を含めた変遷をみると、蛇行部の内湾砂州は、流向から 11° は砂州が維持できる。H23 掘削は、上流側の掘削がされず下流掘削部は堆積・樹林化してしまった。
- ・ 今回は上流側も掘削するため、掘削後の流向に合わせて角度を考えるとよい。また、営巣地下流の砂州右岸側も、流れを考えると掘削してもよいのではないかと。
- ・ 砂州が維持されると、砂州下流で瀬（浅場）が出来るため、川流れ等の河川利用にも活用できる。
- ・ 夕張川は堤防間が広く、低水路の蛇行の自由度は高い。河川の流れによって維持されていくことがよい。
- ・ 樹林化は、ダムの影響が大きくかわる。試験湛水時には渇水状態が続き、翌年はその吐き出しにより小出水が続く状態であった。これが掘削後の堆積・樹林化に影響があったと思う。

- ・ ショウドウツバメ営巣地对岸に河原が出来たことにより、南幌町の他、栗山町や岩見沢市の小学校の環境学習にも利用されるようになっていた。

■個別利活用箇所の維持管理・役割分担などについて

- ・ その他の地点として、KP11 周辺に現在は使用されていないサイフォンが残置されている。落差、オーバーハングになっているため、河川利用時の危険個所であり、魚類（ヤツメ類）の遡上にも支障がでていると感じている。
- ・ 清幌橋観測所の水位で 7.0m が通常の川の流れて、河川利用や魚類遡上の基準値としてみている。みお筋をつくっている流況であるため、管理の参考にしてほしい。

＜参加者リスト＞

	分野	氏名	所属	備考	出欠 ○→出席 ×→欠席
1	行政	大石 珠希	江別河川事務所長	座長	○
2	"	野上 勝広	夕張川ダム総合管理事務所長	副座長	○
3	" (江別市)	惣万 祐二	建設部 土木事務所治水課長		×
4	" (南幌町)	黒島 滋規	都市整備課 課長		○
5	" (長沼町)	別所 昭人	都市整備課長		○
6	" (岩見沢市)	山下 徹	建設部 建設管理課長		○
7	" (由仁町)	岩花 司	建設水道課長		×
8	" (栗山町)	片山 伸治	建設課 建設課長		×
9	" (夕張市)	阿部 充雅	土木水道課長		○
10	" (北海道)	密石 修	空知総合振興局札幌建設管理部 長沼出張所 所長		○
		杉田 直樹 (代理:但野 正寿)	同 岩見沢出張所 施設保全室長 (同 岩見沢出張所 主査(治水二))		○
11	環境	妹尾 優二	流域生態研究所長		○
12	農業、利水者	飯田 修久	水土里ネット由仁 (由仁土地改良区)理事長		×
13	環境	諸橋 淳	「おっ鳥クラブ」		×
14	NPO等	上野 千春	栗山オオムラサキの会		○
15	"	高橋 慎	栗山町ハサンベツ里山計画 実行委員会 実行委員長 (NPOくりやま 事務局長)		○
16	"	久保 和英	河川愛護団体 「リバーネット21ながめま」		×
17	"	千葉 光弘	「夕張川なんでも探検隊」		×
18	"	西岡 政則	一般社団法人 栗山青年会議所		×
19	"	杉本 伸二	夕張川自然再生協議会 事務局長		○
20	"	近藤 長一郎	特定非営利活動法人ふらっと南幌 代表理事		○